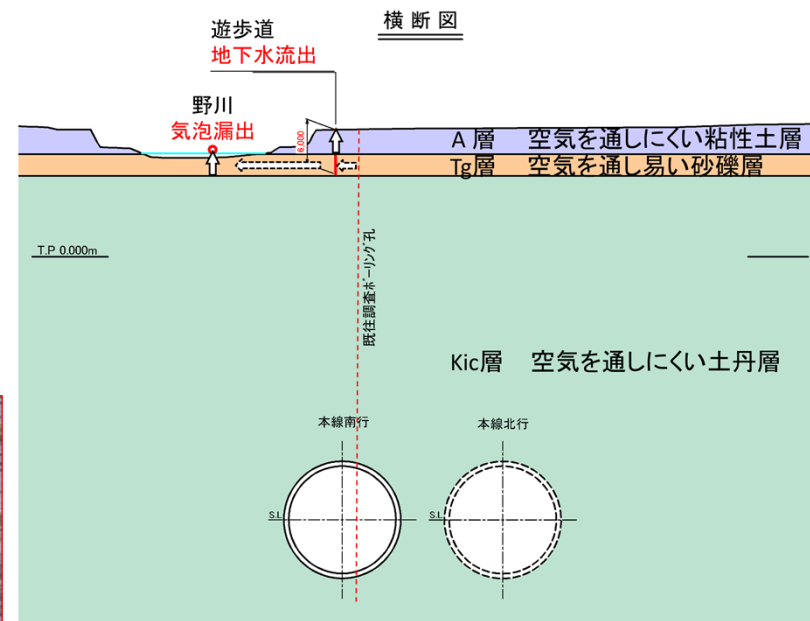


- 平成30年5月から7月にかけて東名JCT周辺の野川の水面等において漏気を確認
- この漏気について、下の内容を有識者に確認
 - ・大深度地下の大断面のシールド工事の掘進時に使用する空気の一部が、北多摩層まで到達している人工的な孔の隙間を通して上昇し、地上に漏出するメカニズムであること
 - ・地中から漏出した空気は、大気に比して微量であり希釈されるため、周辺環境に影響を与えるものではないこと。また環境調査を実施し、各測定値が基準値を満足していること

東名JCT周辺の野川の漏気状況



野川からの空気の漏出推定メカニズム



今後の掘進方法について

- 北多摩層では地上へ漏気を発生させることなく安全に掘進できた空気を使用しない掘進方法で掘進
- それ以外の地層においては、地質状況に応じて掘進時に使用する添加材や圧力を調整し、安全な掘進方法を確認しながら掘進
- 安心確保のため周辺環境のモニタリングを行っていく。

今後の掘進方法

